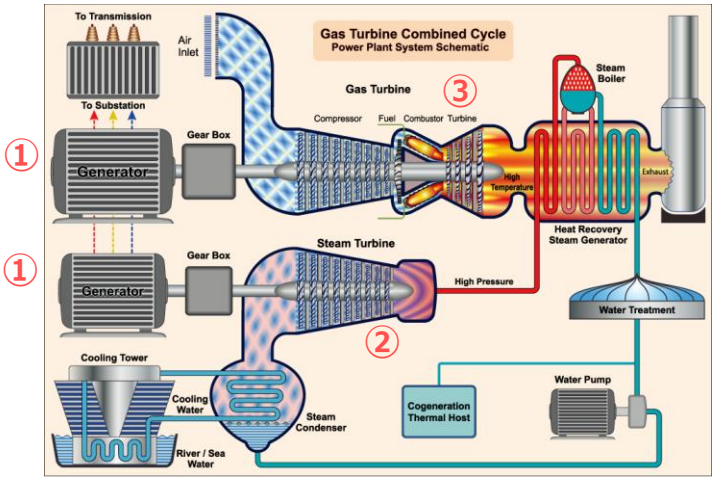
PX8000　ガスタービン(マイクロガスタービン)発電機の評価

高速回転を高速サンプリングで捕捉し、サイクル統計演算で波形パラメータを確認

起動時間が比較的短くて済み、蒸気タービンとコンバインドにしたり、排熱を積極的に利用することでトータルの発電効率が大変高くなるガスタービン発電が注目されています。
ガスタービンエンジンは回転数が高いことから（大型で3,000から10,000rpm　マイクロガスタービンで60,000から120,000rpm）、その特性を評価するには、波形捕捉のために高速サンプリング＆高精度の測定器が必要となります。特にPX8000には、サイクル統計演算機能も搭載されていることから、起動からの各種の波形パラメータの統計的な評価が可能です。

ガスタービンと蒸気タービンとのコンバインドサイクルの例



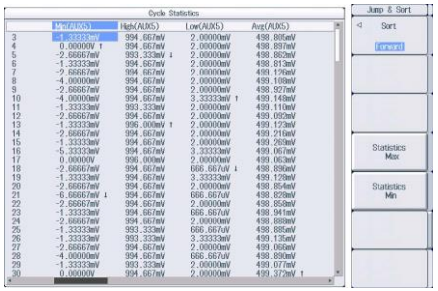
①発電機、　②ガスタービン(マイクロガスタービン)、③蒸気タービン

PX8000
プレシジョンパワースコープ

PX8000のサイクル統計処理機能を用いることで、高速に回転するガスタービン発電機の波形と電力値を測定し、その解析と評価が可能となります。

統計演算

波形のサイクルを自動で抽出し，標準偏差などの統計を求めることができます。ヒストリ波形に対しても同様に行えます。



<PX8000　Application>
Copyright © Yokogawa Test & Measuerment Corporation